

よえもん

-yoemon-

今月のことば

立春まで少し!!

2014年2月

第10号

シリーズ
よえもん

大洲のよえもんさん
—よえもんさんの元服—

よえもんさんが14歳の頃、いつも優しく世話をしてくださったおばあさん(角東)が63歳でなくなりました。米子に移り住んでから6年間(9歳から14歳まで)お母さんにかわって、よえもんさんをかわいがるてくださったおばあさんでした。次の年、よえもんさんは15歳になり、元服します。



よえもんさんの生きていた江戸時代初期、元服とは成人の儀式でした。公家を除いて、武家や民間では、前髪を剃って月夜にしていました。



また、字(あざな)といわれる本名とは別の名前をつけました。名前を呼ぶ合う場合は、本名ではなく、この字で呼ぶ合うことが礼儀でした。

よえもんさんの字は、惟命といました。そして、成人を果たしたよえもんさんは、おじいさんと別れて住むことになりました。

しかし、よえもんさんが元服した年におじいさん(吉長)も75歳でなくなりました。

よえもんさんは15歳でおじいさんの後を継ぎ、一人前の武士としてお城で働くことになりました。



さざんか
山茶花



つばき
椿



近江聖人 中江藤樹記念館
高島市安曇川町上小川69



いきとしいける人間に
明德仁義の心なきは
一人もなし

普濟田瑞穂さん
出典・日翁問答より



『生きているすべての人間の心には、明德と仁義が必ず備わっているのです。』
といった意味の言葉です。

人間は生まれながらに、優れた正しい徳性(明德)や、広く人をいつくしむ心をもつ正しい行いをする心(仁義)を誰もが持っている。藤樹先生は語っています。

記念館さんぽ

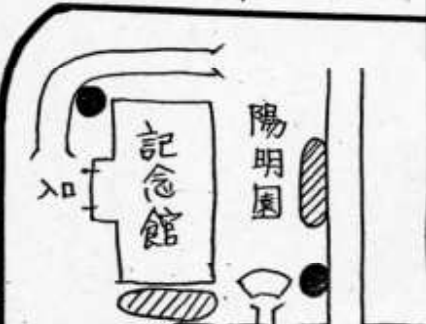
記念館と陽明園には、この寒～い季節でも山茶花と椿の花が色どりを添えてくれます。

山茶花と椿の花は、よく似ていますが

観察してみると少しづつ違いがあります。2月、木の周りに真っ赤な花びらを散らしているのが山茶花です。

椿の花は現在つぼみですが、3月ごろから花が咲き始めます。

どちらもよく似ていますが、花の散り方で見分けることが出来ます。



●... 椿(つばき)
◐... 山茶花(さざんか)

TEL・FAX (0740)-32-0330

中江藤樹の顔展 開催中!!

